



VOICE

読者のページ

2026年1月号(54巻1号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

一般検査の potential pitfall に備えよう

- トリコモナス原虫の運動時の白血球は見たことがありますが、運動停止中のアメーバ状に変化したトリコモナスは見たことがありません。発見できなかったかもしれないので、本記事にあるような特徴を気にかけてながら検査しようと思います。 **YT (岐阜県)**
- 日常的に行っている尿検査に数多くのピットフォールが潜む事実にあらためて驚きました。小さな違和感に気づける意識が重要だと感じました。 **HH (兵庫県)**
- 尿細胞診は日常業務で見慣れています。ステルンハイマー染色や塩類の観察などは慣れない部分も多く、勉強になりました。とても読みやすくまとまっています。保存版にしたいです。 **denpa (京都府)**

MT Seminar

知っておこう 口腔と全身の病気との関連 —口腔微生物叢の重要性

- 歯を失うと認知症になる確率が上がるということは知っていたが、実際はさらに多くの病気と関係していると知ることができて良かった。 **さかい (愛知県)**
- 口腔菌が癌にも関連するということで、細菌は小さいけれど恐ろしさを秘めていることをあらためて感じました。口腔ケアは、老若男女関係なく大切なものだと気づきました。 **さんきち (山口県)**
- 口腔の健康が、さまざまな病気を予防するとわかりました。臨床検査技師が口腔の健康にもっとかかわれるようになるといいと思います。 **まるねこ (兵庫県)**

基礎講座

透析患者の血液検査値を見る際のポイント

- 透析検体の値は、除水による血液濃縮で蛋白や酵素が上昇し、UNなどは低下するなど、通常とは異なる動きを示します。ヘパリン起因のTG変動もあり、これらの特性の理解が、異常値やパニック値の正しい判断に重要だと感じました。単に数値を報告するのではなく、透析前後の変動をふまえて臨床に情報提供することが、透析医療の質を支えると心に刻みました。 **AT (広島県)**
- 慢性疾患のなかでも、透析患者は電解質値の評価が難しいので、大変参考になりました。CuやZnなどの微量金属についても教えてほしいです。 **HY (福岡県)**

From LABO

フリーランスで働く臨床検査技師の実際

- フリーランスという働き方は都市部ならではかと思っていました。地方でもフリーランスとして活躍されている臨床検査技師の存在を知り、多様な働き方を知ることができました。 **TM (福井県)**
- 色を扱う検査が困難という背景がありながら、特技を活かして活動されている姿は、現役の臨床検査技師だけでなく、臨床検査技師を目指す学生さんにも励みになると感じました。 **HH (兵庫県)**
- 看護師と並び、臨床検査技師のフリーランス派遣を見かけるようになりました。契約交渉やインボイスなど大変なことも多いと思いますが、自分の技と経験で勝負していくのはすごいと思います。 **やもり (山口県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

